



JFA 第 31 回全日本 U-15 フットサル選手権大会
大 会 報 告

御礼



平素より、NPO法人 久留米アザレアスポーツクラブの活動に格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
ございます。

このたび、皆様からの温かいご支援・ご協賛のおかげをもちまして、
栃木県 日環アリーナで行われました「JFA 第31回全日本U-15フットサル選手権大会」に出場することができました。

大会では、全国各地から集まった強豪チームとの対戦を通じて、選手たちは技術面だけでなく、
挑戦する姿勢や仲間と協力することの大切さを学ぶ貴重な経験を得ることができました。
このような全国大会という大きな舞台に立てたことは、選手一人ひとりにとって今後の成長につながる大きな財産となりました。

改めまして、本大会出場にあたりご協賛・ご支援を賜りました皆様に、クラブ関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様のご支援があったからこそ、選手たちは安心して大会に臨むことができました。

今後もNPO法人久留米アザレアスポーツクラブは、スポーツを通じた青少年の健全育成と地域スポーツの発展に努めてまいります。

引き続き変わらぬご支援・ご声援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

出場いたしました選手の言葉をお届けし、大会報告とさせていただきます。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

NPO法人久留米アザレアスポーツクラブ
代表 南 孝輔

監督

中村 浩晃

Hiroaki Nakamura

クラブ初の全国大会、1次ラウンドは3戦0勝3敗で予選敗退。

結果は厳しいものでしたが、すべてが圧倒された試合ではありませんでした。

だからこそ、全国の舞台がいかに甘くないかという現実を、3試合を通して強く突きつけられました。

それでもフットサルでは、今後も全国に挑戦できる確かな手応えを感じることができ、クラブ初となる全国大会の空気を経験できたことは大きな財産です。

そしてU15としては最後の公式戦となりましたが、この悔しさを決して忘れず、それぞれが次のステージで自分自身と向き合い、さらに成長していったほしいと思います。

今大会に向けて壮行会に参加して下さった皆さま、協賛・応援してくださったすべての皆さま、本当にありがとうございました。また、対戦チームの皆さま、選手・大会関係者の皆さまにも心より感謝申し上げます。

そして保護者、サポーター、OBの皆さま、遠い地まで応援に駆けつけていただき、本当にありがとうございました。

この経験と悔しさを力に変え、クラブはここからまた前へ進み続けます。今後とも変わらぬご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。



協賛一覧（順不同・敬称略）

ご協賛いただきありがとうございました

株式会社 V・ファーレン長崎

大川 HL FC

荒木 FC

FC グランディール三潴

グラスルーツ WS

城島 FC

みやま FC フェザント

Reve 筑前

中友 FC

小郡東野 SC

小郡南 JSC

福岡 LEGEND FC

ペラーダ大川

北野 FCヴェンセル

C.A Fukuocana

筑後 FC

Bande 大牟田 FC

ドゥマンソレイユ福岡

Progresso 福岡

株式会社 あすひと

鯉龍軒

Risa la fuente

有限会社 野下自動車

庭仕事株式会社

高田農園

佐藤住設

アザレア総合法律事務所

蓑原不動産株式会社

やまだ整骨院

有限会社 K T A サポート

ウィングテック株式会社

三井物産プラスチック株式会社

株式会社久栄総合コンサルタント

下川・徳永土地家屋調査士合同事務所

学校法人宮本学園 認定こども園 いわた幼稚園

その他会員・クラブ関係者・OB 200 名

* 個人名・クラブ会員名の公表は控えさせていただきます。

JFA 第 31 回全日本 U-15 フットサル選手権大会

主催 公益財団法人日本サッカー協会

【大会報告】

久留米アザレア U-15

(九州地域代表／福岡県)

得点：室園孝義 (筑後 S C)

生野琉丘 (久留米 AZALEA U-12)

2-4

FC ブリンカール安城

(東海地域第 2 代表／愛知県)

長岡 JYFC

(北信越地域第 2 代表／新潟県)

3-1

久留米アザレア U-15

(九州地域代表／福岡県)

得点：徳田亘希 (グラスルーツ WS)

久留米アザレア U-15

(九州地域代表／福岡県)

得点：塚本真優 (筑後 S C)

1-2

アレアレア FC U-15

(北海道地域第 1 代表／北海道)



大会期日 2026 年 1 月 10 日 (土) ～ 12 日 (月・祝)

開催地 栃木県 / 日環アリーナ栃木

久留米 AZALEA U-15

1 GK 千代島 剣之介

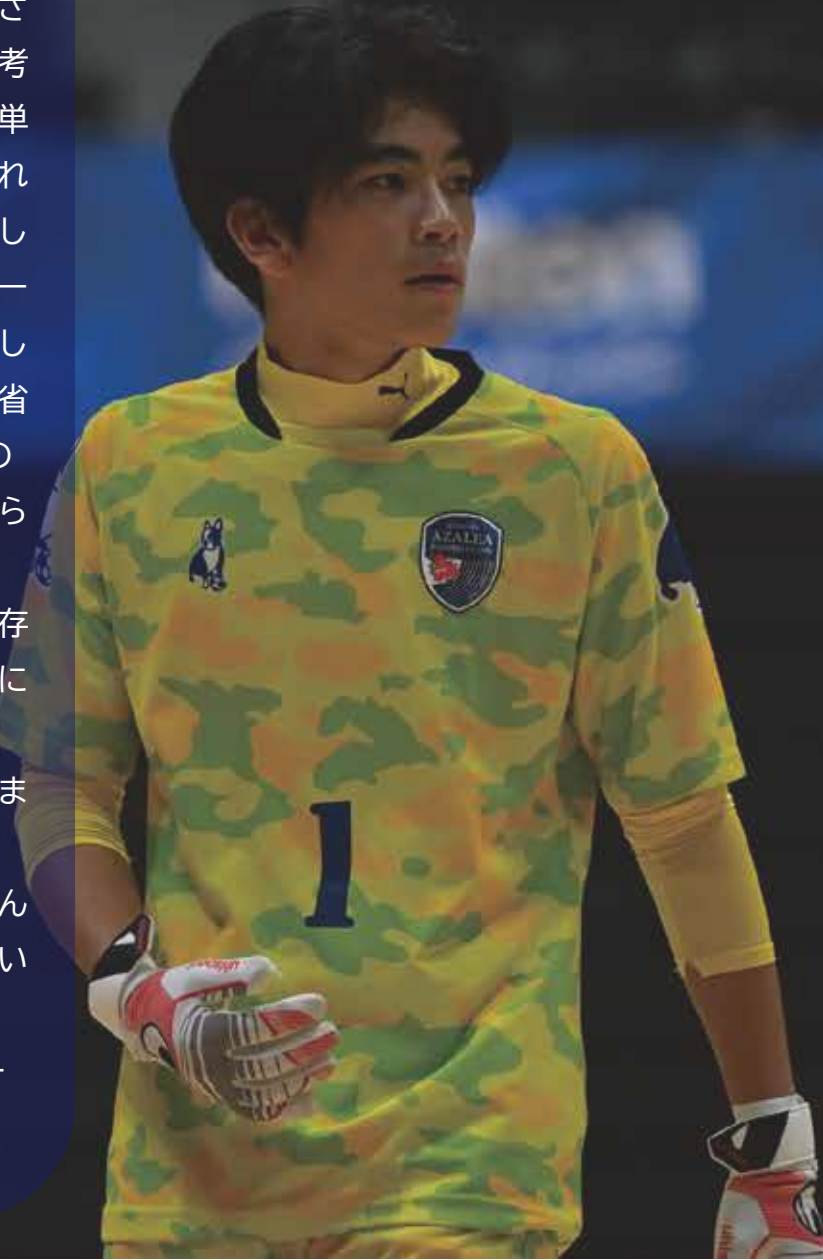
Kennosuke Thiyojima

今回フットサル全国大会に GK として出場しました。この大会は全国から強いチームが集まる大きな舞台で自分達にとって中学生最後の大会でもありました。結果は悔しい敗戦となりましたが今までの大会と比べられないほど多くの経験を学びました。

試合を通じて特に強く感じたのは、相手チームのパス回しのレベルの高さです。パススピードが速く、正確でボールを持つ前からの次のプレーを考えているように感じました。自分たちが必死に寄せてもワンタッチで簡単にかわされ守備の形を崩されてしまいました。全国レベルでは一瞬の遅れが大きな差になることを実感しました。僕が特に難しかったのはパス回しから一気にシュートまで持っていられる場面への対応です。いつ、シュートが来るかわからない状況が続き、高い集中力を求められました。失点してしまったシーンは自分の準備不足や予測の甘さが失点に繋がったと反省しています。一方で全国大会という大きな舞台で GK として出場できたのは自分にとって大きな経験になりました。自分に足りない部分やこれから伸ばしていかなければならない課題がはっきりしました。

また、全国大会に出場できたのは、これまで支えてくれた多くの人の存在があったからだと思います。日々、指導してくれた監督やコーチ、共に戦ってきたチームメイト、そして、タオルなどを買ってくれた OB たち、アザレア選手の家族の支援があったからこそ、この舞台に立てたと思います。感謝の気持ちを忘れてはいけないと改めて感じました。この大会は中学生最後の大会になったけど、ここで味わった悔しさや学んだことは、これからの練習や今後のサッカー人生に必ず活かしていきたいです。

全国の舞台で感じた差を成長のきっかけにして、GK として、そして一人の選手としてこれからも努力を続けていきたいと思っています。



自分たちの年代でアザレア初の全国大会出場を勝ち取りました。自分たちの年代はまとまりがなく、アザレアを辞めていく人もいました。その中でみんな、これではダメだと思ったのが二年生の最後の時くらいでした。みんなが変わりはじめ、チームにまとまりが見えはじめて自分たちは勝てるようになりだしました。まさか自分たちの年代で全国大会まで行けるとは思っていませんでした。全国大会では悔しくも1勝もできなかったけど今まで先輩や後輩、両親や応援してくれているコーチやスタッフの人、タオルを買っていただいたOBの方々の想いを胸に全国大会に臨みました。自分は全国大会優勝を目標に戦ったけど、あと少しの所で負けてしまい、相手との努力の差が出てしまいました。もっと練習や自主練をしておけばよかったと後悔しています。

全国大会は初めての舞台でワクワクでした。試合は負けてしまったけど、とても思い出に残る大会でした。試合のとき自分は思っていました。絶対に自分がゴールを決めて勝つと心に決めていました。一応、1点は決めたもののチームは勝つことができず、とても悔しかったです。この悔しさをこれからどれだけ頑張っていけるかが大事になってくると思います。この試合で負けた悔しさを胸に高校でも全国大会出場を目指し、戦ってみたいです。そしてアザレアを有名にさせます。

久留米 AZALEA U-15

3 FP 室園 孝義

Takayoshi Murozono



久留米 AZALEA U-15

4 FP 生野 琉丘

Ruku Ikuno

今年はサッカーで九州大会に行くことができなかったけどフットサルで県大会と九州大会で優勝し、全国大会に出場することができ嬉しかった。県大会や九州大会ではチーム全員で声を出してプレーできたし、きつい場面でも諦めずに戦えた事で優勝に繋がったと思う。特に九州大会では最後まで集中を切らさず戦えたことが大きかった。全国大会では三戦三敗だった。相手のスピード、技術、判断の速さなどが今まで戦ってきた相手とは違い、なかなか自分たちの良さが発揮できなかった。そこで自分たちはまだ足りない部分が沢山あることに気づいた。

自分は全国大会でゴールを決めることができたけど、それよりも守備の切り替えやプレスの速さ、判断の部分など改善したいことが多かった。だけど、全国で強い相手と戦えたことはすごくいい経験になったし、負けたからこそ見えた課題もあった。これからは高校で県、九州、全国で戦えるようになるために普段の練習からもっと意識して取り組んでいきたいです。全国大会まで行けたことは自信になったし、これからのモチベーションにもなりました。

来年、再来年、再再来年、また全国の舞台で戦えるように頑張りたいです。



久留米 AZALEA U-15

7 FP 宮崎 勇佑

Yusuke Miyazaki

私は全日本U-15フットサル選手権大会に出場してきました。九州大会で優勝してから九州のチームの代表として戦うという責任や全国大会という大きな舞台ということもあり、とても緊張していました。フットサルはサッカーと違い、コートは狭く、ゴールも小さいため最初は慣れませんでした。そして、細かいルールが沢山あり難しかったです。ですが、試合の回数を重ねるごとにいろんなことを覚えることができました。試合では粘り強く守備をしてからのカウンターなどアザレアらしいスタイルで戦ってきました。遠征が始まって、1日目にはランニングがあり、正月明けということもあって少し体がなっていました。個人的には走ったりして体を動かしたりしていたつもりでしたが、とても気分が悪くなりました。気分が治ってからは笑い話にできるようになったので、一つのいい思い出となりました。2日目では会場に行って、二試合しました。会場に着くと、いろんなチームがいて緊張してきました。1試合目ではスピードやフィジカルも強く、プレスが早かったため焦ってパスミスをしてしまったりしました。2試合目では少ししか出れず、とても悔しかったです。そして、二敗してしまい、トーナメントに上がることはできませんでした。ですが、応援してくださる方々が「明日、勝つぞ」などのプラスの声をかけてくださったことが心に残りました。3試合目は最後の公式戦ということもあって、勝ちたいという気持ちが今まで以上にありました。自分が出ている時は全力で守って攻撃にも参加しました。負けてとても悔しかったです、やり切ることができたので良かったです。そして、応援してくださる方々が最後まで声をかけてくださったので嬉しかったです。3日目は東京に行ってスカイツリーに登りました。東京全体が見えて、高いビルばかりで迫力がある驚きました。浅草で昼ご飯を食べて、とても美味しかったです。この4日間では全国大会でのレベルの差を感じたり、チームメイトのいいところを見つけることができた良い経験となりました。この全国大会で戦ったことを残り少ないアザレアの練習やこれからのサッカー人生に活かせるように努力して行きたいです。

久留米 AZALEA U-15

9 FP 陣内 大聖

Taisei Jinnai

僕は今回の全国大会を得て、全国のレベルの高さを知ることができた。僕自身思うようなプレーができず、チームでも1勝もできず、敗退してしまい、とても悔しかったです。しかし、全国という舞台でプレーすることができ、とても良い経験ができたなと思います。地区予選から始まって、県大会、九州大会と優勝することができ、まさか全国大会に行けるとは思ってなくて、びっくりしました。全国大会前の練習で全員がしっかり準備しようとする雰囲気がとても良かったです。試合では今まで準備してきたものを発揮しようとしたけれど、やっぱり全国の壁は高く、ベンチを含め全員で戦ったが1勝もすることができなかったです。保護者の方々もたくさん応援してくれてとても嬉しく、元気がもらえました。最後の公式戦で「もう、終わるんだな」と思うと寂しい気持ちです。ここまで支えてくれたスタッフ、保護者には感謝の気持ちでいっぱいです。三年前にアザレアに入団すると決めてよかったなと思いました。今回の経験を得て学んだことをこれからの高校生活に活かしていこうと思います。



9月のフットサルからこれまで保護者の人にはいろいろサポートしていただきありがとうございました。そのおかげもあって九州大会でも優勝し、全国大会に出ることができました。全国大会では惜しい結果で終わってしまったけど、今までにない貴重な体験をさせてもらいました。これは自分たちだけの力じゃなくて、いろんな人が支えてくれたおかげで行けたのだと自覚してプレーすることができました。

アザレアに入ってから全国大会に行かせてもらったり、海外にも行かせてもらい、いろいろなことを経験させてもらいました。これまで関わってくれた人にはとても感謝しています。フットサルではいろんなプレッシャーなど感じることもあったけど、栃木まで来てくれて保護者の方々が一生懸命に応援してくれたおかげで全力でプレーすることができました。ありがとうございました。旗や応援歌などいろいろ準備してもらったのに1勝もできなくてとても悔しかったです。でも、とてもプレーしていて楽しかったし、この経験を活かして、これからもがんばっていこうと思いました。

関わってくださった皆さん本当にありがとうございました。



久留米 AZALEA U-15

11 FP 松枝 遼音

Haruto Matueda

全国大会という大きな舞台でフットサルができたことは自分にとって、とても貴重な経験になりました。会場の雰囲気は県大会、九州大会とは全く違い、観客の多さや相手チームや他のチームのレベルの高さに最初はとても緊張しました。でも、試合が始まると九州代表として全力で勝ちに行こうと思い切ってプレイすることができました。試合では相手チームのパススピードや判断の速さが自分たちよりも一段上で全国大会のレベルの高さを強く感じました。

思うようにボールが回せず、苦しい時間が続いたけど、その中でもチーム全員が声を出して最後まで諦めずに戦えたのが良かったと思います。でも、自分自身の反省点も多く見つかりました。特にプレッシャーが強い場面で焦ってしまい、簡単なパスミスをしてしまったことが悔しかったです。また、守備では相手の動きについて行けず、対応が遅れてしまう場面もあったので、もっと周りを見て冷静に判断する能力が必要だと思いました。全国大会を通して技術だけでなく、メンタルの強さやコミュニケーションの大切さを学びました。今回の経験が無駄にせず、これからは基礎技術の向上と判断力を高める練習に取り組んでいきたい。そして、次に全国大会に出場することができたら、チームの勝利にもっと貢献できる選手になりたい、そのために努力していきたい。

久留米 AZALEA U-15

16 FP 今村 栄

Hide Imamura





久留米 AZALEA U-15

17 FP 岡野 航暉

Koki Okano

全国大会では試合には出れなかったけど、まず全国という緊張と観客の多さなど、全国でしか味わえないようなことばかりで二度と味わえない良い経験ができました。

試合では全国レベルの速さや判断力の速さの違いを見ることができた。まだまだ自分とはレベルが違うととても感じました。

でも、チームはそんな相手でも圧倒されず、戦ったので、チームメイトもさすがだなと感じました。

そして全国で一番学んだことは両親やチームメイト、コーチや支援してくれた人たちが一つになったから全国レベルの相手でも対等に戦ったと思います。

これからある受験や高校サッカーでもみんなで団結しあったり、助け合ったりするようにしていこうと思いました。

久留米 AZALEA U-15

18 FP 仲村 斗馬

Toma Nakamura

筑後地区大会から全国大会を通して、今まで経験したことのないくらいの緊張感を味わうことができました。最初はフットサルのルールや戦術、戦略、ボールやコートの大きさなど普段練習しているサッカーとは異なる部分がたくさんあり戸惑いました。しかし、チームのみんなとフットサルに向き合っていくうちにだんだんと慣れていくことができました。

まず筑後地区大会ではあまりフットサルに慣れておらず、思うように体が動きませんでした。しかし仲間と声をかけ合いながらプレーすることで試合に集中することができました。地区大会を勝ち上げられたのは持ち前のテクニックはもちろん、チーム一人ひとりが最後まで諦めなかったから勢いそのまま県大会優勝にも繋がったんだと思います。

次に九州大会では相手チームのレベルも高くなり、今までのプレーが通用しなくなる時もありました。そんな中でも試合の流れを作るためにベンチ内でもフィールド内でも励ましあって前向きに試合に挑むことができました。その結果、県大会も優勝し、九州大会も優勝して全国大会へ出場することができ、とても嬉しかったです。

全国大会では相手チームの強さに圧倒されましたが最後まで仲間を信じてプレーしたり、応援したりしました。最終的に満足いく結果ではなかったけれど、アザレアのみんなと全国大会でプレーできて最高に楽しかったです。この経験をこれからの自分にいかして行きますアザレアで良かったですありがとうございました。



A young male soccer player with dark, spiky hair is running on a field. He is wearing a white and grey camouflage-patterned jersey with the number 23 on the front. He is holding a small blue object in his right hand. In the background, other players in red and yellow jerseys are visible, slightly out of focus.

久留米 AZALEA U-15

23 FP 樋渡 太吾

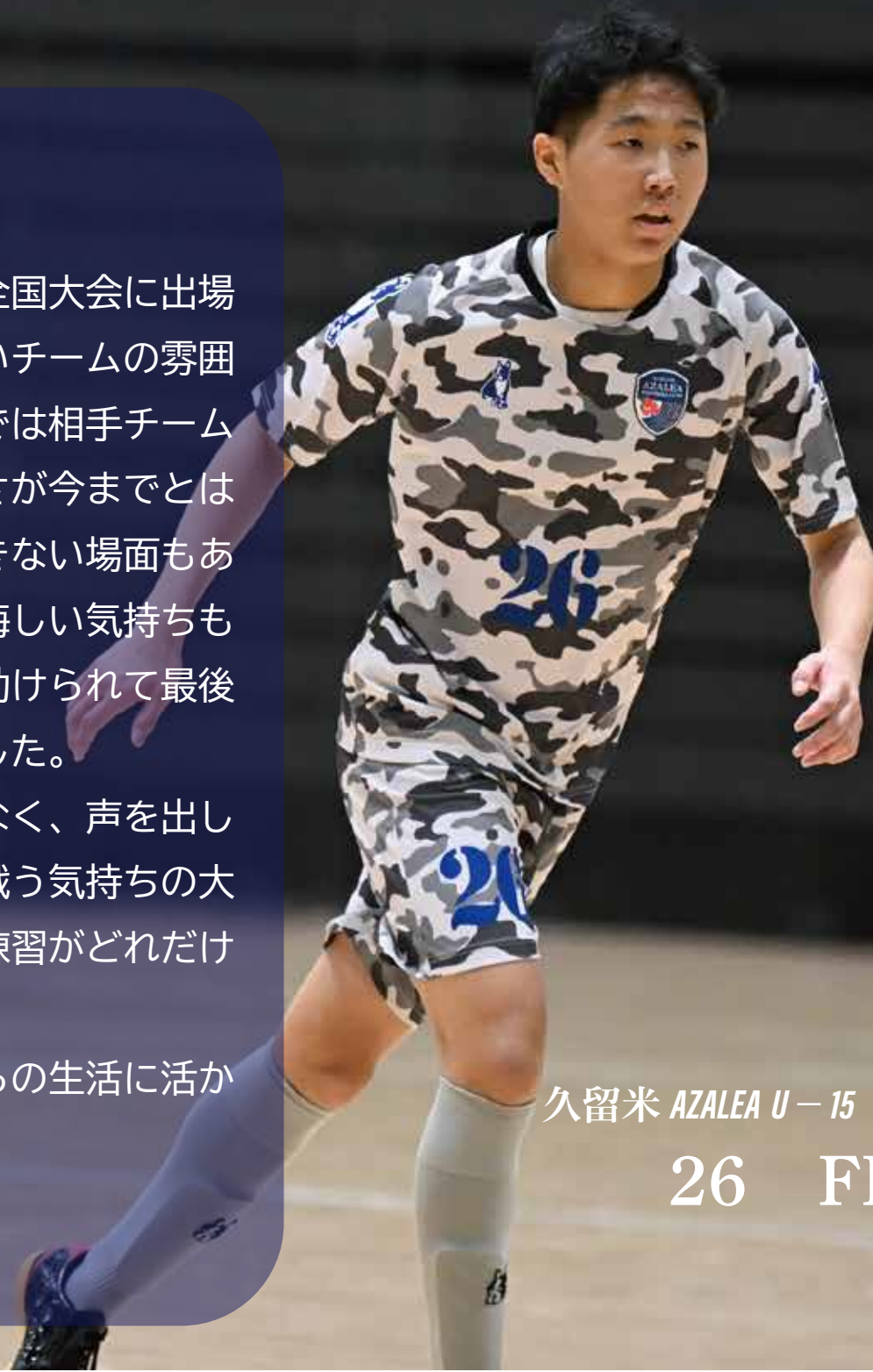
Daigo Hiwatashi

今回フットサルの全国大会に出場しました。九州大会で優勝し、その結果全国大会が行われ 栃木県に行くことができました。初めての全国ということもあり出発前からとても緊張していました。飛行機や移動に時間も長く、全国大会に来たんだという実感が少しずつわいてきました。会場に着くと今まで見たことのないくらい大きなアリーナで観客も多くとても緊張しました。全国大会では全部で三試合ありましたが、どの試合も簡単にはいかず、最後まで気の抜けない試合ばかりでした。結果は全て負けてしまい、どの試合もあと少しの所で勝てなかったことが本当に悔しかったです。点を取られてしまった場面や自分のミスで流れを悪くしてしまった場面もあり、試合後にもっとこうすればよかったと思うことが沢山ありました。全国のチームと試合をして相手の技術やスピードのすごさを強く感じました。パスの正確さや判断の速さが自分たちとは違い、自分たちの足りないところや反省点がはっきりしました。普段の練習の大切さも改めて感じました。その中でも自分たちが一番良かったと思うのは試合中の声かけやチームの雰囲気です。点を取られても誰かが声を出し、ミスした仲間を責めることなく次のプレーに切り替えることができました。苦しい時間が続いてもベンチも含めてチーム全員で声を出し続けられたことはどのチームも負けていなかったと思います。この大会を通して勝ち負けだけでなく仲間と協力することの大切さを強く感じました。一人ではできないことも仲間がいることで最後まで頑張れるということを学びました。全国大会で感じた悔しさやこのチームの良さをこれからの生活に活かして行きたいです。この全国大会でこのチームでの活動は引退になります。今まで当たり前だった練習や試合がこれで最後と思うと さみしい気持ちになりました。うまくいかない時もありましたが、仲間と一緒に乗り越えてきた時間はとても大切な思い出です。高校ではみんなそれぞれ別の学校に進みサッカーを続けていきます。全員同じ場所でプレーすることはなくなりますが、ここで一緒に戦った仲間のことは忘れないと思います。場所は変わってもこのチームで学んだ声かけやチームワーク、最後まで諦めない気持ちを大切にしてこれからも頑張っていきたいです。

僕は今回初めてフットサルの全国大会に出場しました。会場に入った時、強いチームの雰囲気にとっても緊張しました。試合では相手チームのスピードの速さやパスの正確さが今までとは全く違い、思うようにプレーできない場面もありました。ミスをしてしまい、悔しい気持ちもありましたが、仲間の声かけに助けられて最後まで諦めずに戦うことができました。

全国大会を通じて技術だけでなく、声を出して仲間を支えることや最後まで戦う気持ちの大切さを学びました。また日々の練習がどれだけ大事かを改めて感じました。

この大会で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいと思います。



久留米 AZALEA U-15

26 FP 徳田 亘希

Koki Tokuda

10 FP 塚本 真優

Mahiro Tukamoto

筑後地区大会から全国大会を通して最初はルールもあまりわからず、練習も充分に出来ていない状況からスタートしたが試合を積み重ねることに成長していくのがとても嬉しいし、楽しかった。サッカーとフットサルは違うスポーツだが、フットサルから学ぶことは沢山あったと思う。フットサルでは試合に出ているメンバーだけでなく、ベンチメンバー、保護者の応援のおかげで何度もピンチを乗り越えてこれたし、チームが一つにまとまる喜びを味わえた。自分自身は筑後地区大会から全国大会を通し、ほぼフル出場することが出来たし、九州大会までは通用する部分も沢山あった。でも、全国大会では自分の思うようなプレーができなかった。

1日目は自分のメンタルの弱さにも気づかされる試合だった。いま思うと、もっとミスを取り返そうという気持ちを持って戦うことが大事だと思った。とても悔しい。

2日目の試合では、今までと同じように自分の思うようなプレーができて、悔いのない試合ができたと思う。しかし相手の選手にシュートを打たれる場面もあったので、まだまだ足りない部分が見えました。このような経験ができた全国大会はとても意味のある試合になったし、サッカーにも繋がるところも沢山あった。また、全国が決まった時には壮行会を開いてくれて、とても嬉しかったです。今回のフットサルの経験を高校でも活かして全国に行けるようにがんばりたい。



応援いただきありがとうございました

NPO 法人久留米アザレアスポーツクラブ

スタッフ・保護者・選手一同

